

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

今年72回目を迎えた赤い羽根共同募金運動が、10月1日から全国一斉に始まります。ご協力いただいている皆様、誠にありがとうございます。

共同募金は地域の高齢者や障がいのある方や子どもたちへの福祉の活動や、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体の活動を支えるための募金です。また、新潟県共同募金会で積み立てられた募金の一部は、災害時の災害ボランティアセンターの運営に使われるなど、被災地支援にも役立てられます。皆様の温かい心が「じぶんの町を良くするしくみ」を支えます。ご家庭や街かどなど、さまざまなかたちで皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



介護されている方も
以前介護していた方も
興味のある方も
どなたでもどうぞ!

「介護のつどい」、 毎月実施中です!

中央区社協では、自宅で介護されている方の息抜きの機会として、介護の集いを開催しております。毎月、介護に関する制度について学んだり、介護する方の健康に良いお話を聞いたりしています。どなたでもご参加いただけます。

開催日や内容については、中央区社協(210-8720)までお問い合わせください。



6月は健康体操「だんだんダンス」



7月は施設見学ツアーでした!



災害と社会福祉協議会

今年に入り、全国各地で地震や水害など大きな災害がいくつも発生しています。そこで今回は中央区社会福祉協議会の災害についての取り組みをご紹介します。

中央区社会福祉協議会には、災害時の役割の一つに「災害ボランティアセンターの設置・運営」があります。災害ボランティアセンターとは、主に「被災された方々の力になりたい人」と「ボランティアの力を借りたい人」をつなぐところです。災害時の困りごと相談所として活用していただくため、毎年「災害ボランティアセンター設置・運営研修会」を開催し、災害ボランティアセンターについて地域の皆さんに理解していただけるよう努めています。

災害はいつ起こるかわかりません。この機会に皆さんも“ひとごと”ではなく“自分ごと”として災害について考えてみませんか。



昨年の災害ボランティアセンター設置・運営研修会の様子

【平成30年度 中央区災害ボランティアセンター研修会開催予定】

日時・場所：①しもまち・上新潟島地域…平成30年12月2日(日) 新潟青陵大学キャンパス
②江東・みなみ地域……………平成30年11月4日(日) ユニゾンプラザ

対象：中央区災害ボランティアネットワーク委員会委員及び委員の構成団体の会員、中央区地区社会福祉協議会役員・自治町内会役員・自主防災会役員、民生児童委員、専門学校・大学の教職員・学生 など
※対象の皆様には後日ご案内を送付いたします。

まちなか総合相談

9月講座のご案内

テーマ：「笑いヨガ～誰でもできる
笑いの健康法～」

日時：平成30年9月27日(木)
10:00～11:30

講師：村山昭子氏

会場：中央区社協交流スペース

参加費：無料 定員：先着20名

申込み：事前に電話でお申し込み
ください。

問合せ：☎025-210-8720
(担当：披田野)

ボランティアのつどい ~Nanmo~ で ボランティア活動の練習をしませんか?

「Nanmo」とは「な～んも考えないで、まずは参加してみてください」という意味です。

「ボランティアしてみたいけど、人と話すのが少し苦手…」「誰かの役に立ちたいけど、いきなり人の間に入るのはちょっと心配だな」「初めてボランティアするから、簡単な作業とかで慣れておきたい」というあなた、中央区社協と一緒に簡単な活動から始めませんか?

作業内容は、封筒詰め作業や切手貼り作業、書類を綴じる作業やチラシに色を付ける作業などの簡単なものです。

ご興味のある方は、まずは電話でお問い合わせいただき、ボランティア活動登録や活動保険のご説明があるので、事前に練習がてら窓口まで来ていただけます。

お問い合わせ：☎025-210-8720



ボランティア・市民活動センターからお知らせ

ご案内 子育てサロンボランティア講座

親子の憩いの場“子育てサロン”を立ち上げたい。その子育てサロンで保育ボランティアをしたい方の講座

日時：10月31日(水)、11月1日(木)
10:00～12:00

会場：新潟市総合福祉会館 502会議室
参加費：無料 定員：先着20名

■詳細は案内チラシ・新潟市中央区社協ホームページでご確認ください♪

サマーチャレンジボランティア2018 報告

高校生・大学生・専門学校の皆さんが、夏休みを利用してボランティア活動をする「サマーチャレンジボランティア2018」に今年もたくさんの学生さんが参加しました。

高齢者施設で活動した学生は、「お年寄りから優しく“ありがとう”と声をかけられて達成感があった。」「利用者の一人一人のことをよくわかっている職員さんのスゴさがあった。人と関わる将来の仕事に接し方をいかしたい。」とサマーチャレンジでの経験が、次のチャレンジにつながる夏の思い出となりました。

